

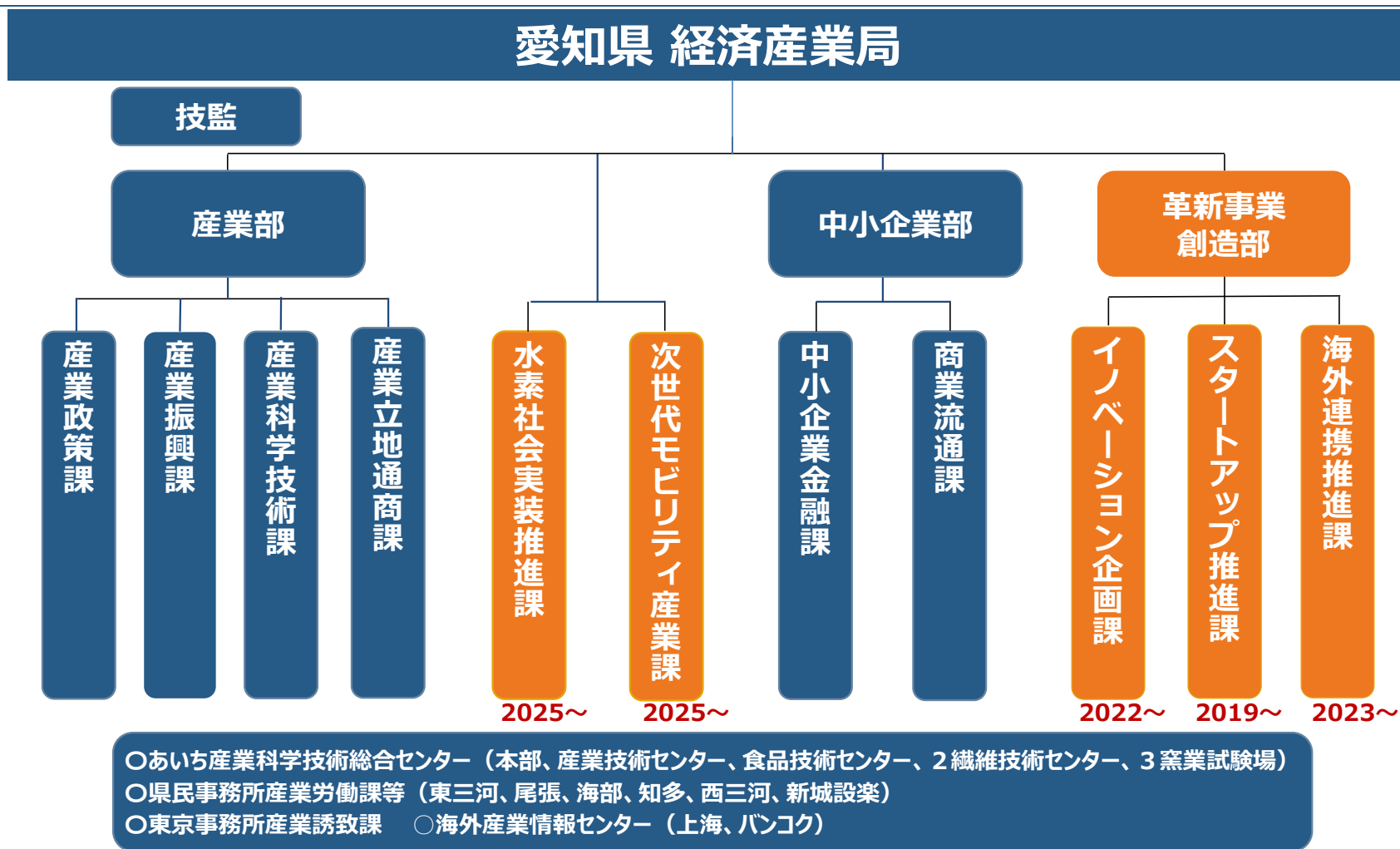
愛知県の産業振興

2026年4月28日

中京大学県政連続講義

愛知県経済産業局産業政策課

経済産業局の組織図



Agenda



1 「現在」を知る

~数字でわかる愛知の産業と経済~

2 「過去」を学ぶ

~歴史で知るモノづくり王国・愛知の源流~

3 「未来」を考える

~愛知の目指すべき姿~

Agenda



1 「**現在**」を知る

~数字でわかる愛知の産業と経済~

2 「**過去**」を学ぶ

~歴史で知るモノづくり王国・愛知の源流~

3 「**未来**」を考える

~愛知の目指すべき姿~

愛知県のポテンシャル



- ▶愛知県は、**日本一のモノづくり産業の集積地**として、長年にわたり日本経済を牽引してきた
- ▶**経済規模は一国に相当し、高い経済成長率**を誇るとともに、**スタートアップ拠点としての成長**など高いポテンシャルを有している

一国に相当する
経済規模

GDP **43** 兆円
コロンビアとチェコの間に相当

国内随一の
モノづくり人材基盤

技能士数
高等学校工業科生徒数
全国 **1** 位

高い
経済成長率

GDP増加率 **20** % (2010年度比)
東京 (16.1%) を超える

大学や
公設試験研究機関の
集積

県内大学 **53** 校
18の公設試験研究機関

圧倒的に日本一の
製造業

製造品出荷額等 **47** 年
連続日本一

スタートアップ拠点
としての飛躍的成長

スタートアップ資金調達額
115 億円 (全国 6 位)

一国に相当する経済規模

- ▶ 本県の県内総生産は約43兆円（名目/2022年度）
- ▶ 諸外国と比較すると、43位のコロンビアと44位のチェコの間であり、**一国に相当する経済規模**
- ▶ 国内では、**東京、大阪に次いで全国第3位**の経済規模
- ▶ 直近では、**大阪を抜いて全国第2位になる見込み**

一国に相当する
経済規模

高い
経済成長率

圧倒的に日本一の
製造業

国内総生産及び県内総生産の国際比較

順位	国名	国内総生産/ 県内総生産(億米ドル)
1位	アメリカ	260,069
2位	中国	183,168
3位	日本	42,625
4位	ドイツ	41,636
41位	パキスタン	3,749
42位	香港	3,587
43位	コロンビア	3,456
	愛知県	3,182
44位	チェコ	3,018

2022年度県内総生産（名目）

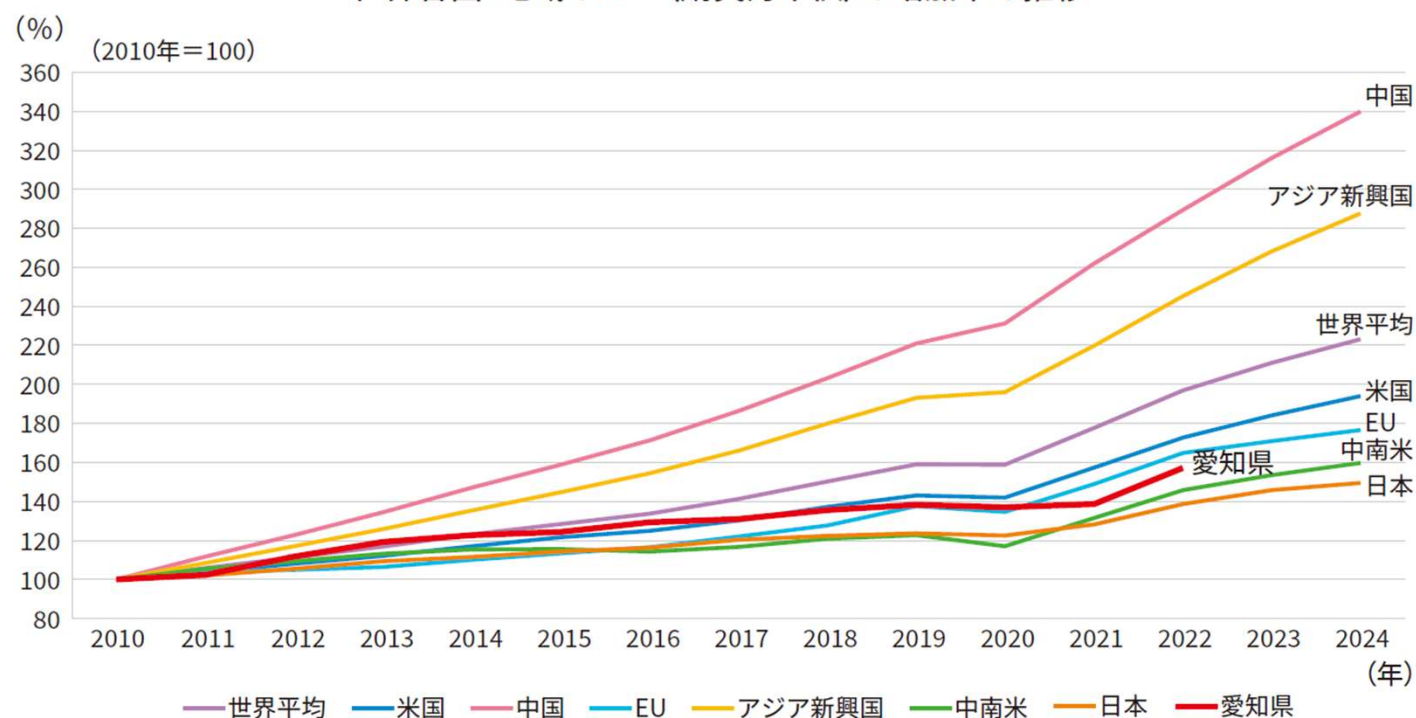
順位	都道府県名	県内総生産（兆円）
1位	東京都	120.22
2位	大阪府	43.12
3位	愛知県	43.08
4位	神奈川県	35.16
5位	埼玉県	24.67
6位	兵庫県	23.46
7位	千葉県	21.14
8位	北海道	20.89

出典）愛知県「2022年度あいちの県民経済計算」を基に作成
 ・世界各国の数値は「THE WORLD BANK-Data」（暦年数値、2025年10月現在）
 ・日本の数値は、内閣府資料（2022年度国民経済計算年次推計の2022暦年数値）
 ・愛知県の数値は、2022年度推計の数値を1ドル＝135.40円のレートでドルに換算
 （東京市場インターバンク直物中心相場の各月中平均値の12か月単純平均から算出）

高い経済成長率

- ▶ 本県の2010年度に対する**GDP増加率は20%**
- ▶ 全国平均（12.9%）を大きく上回り、**東京（16.1%）を超えてトップ**（GDP規模上位10都道府県で比較した場合）
- ▶ これを購買力平価GDPにより世界と比較すると、本県の増加率は57.1%と**EU（64.9%）米国（72.8%）に近接する水準**

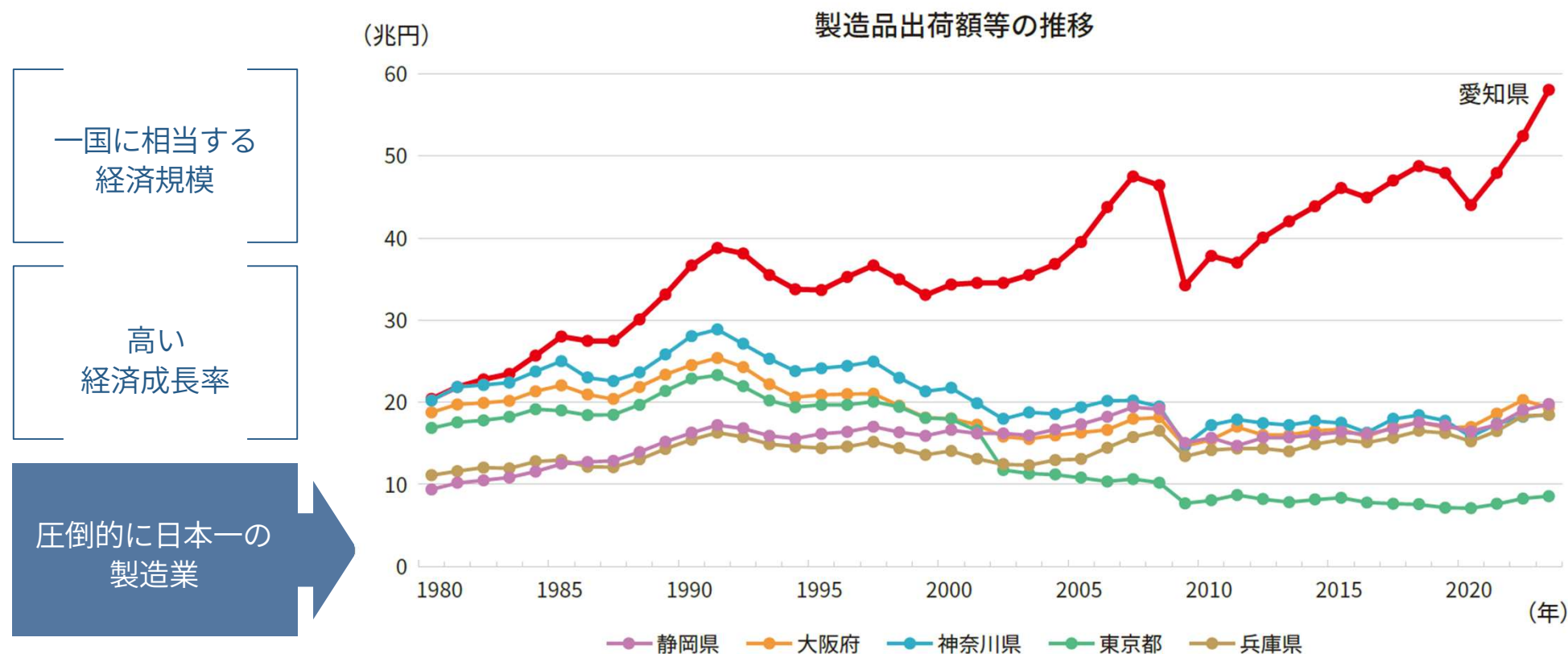
世界各国・地域のGDP（購買力平価）の増加率の推移



出典) IMF" World Economic Outlook Database, April 2025"、内閣府「県民経済計算（平成23年度～令和3年度）」を基に愛知県作成

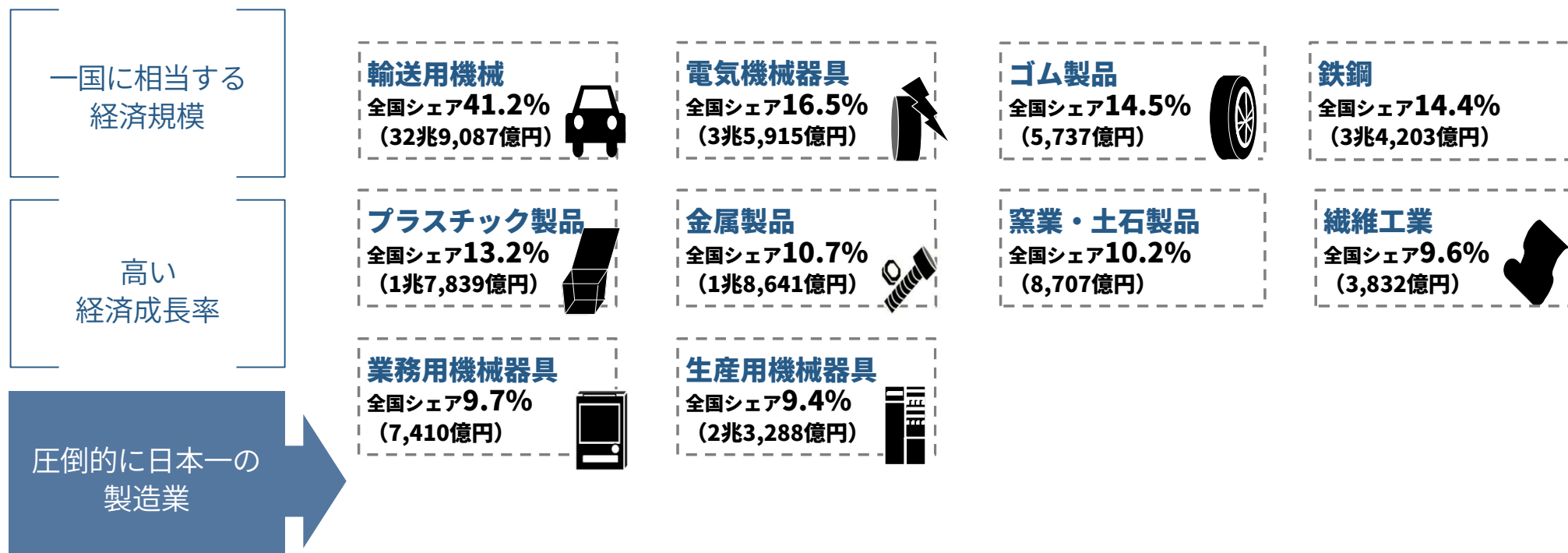
圧倒的に日本一の製造業①

- ▶ 本県の製造業は、**県内総生産の約36%**と最も割合が高く、製造品出荷額等（2023年）は約58兆円
- ▶ 2位（静岡県：約20兆円）以下を大きく引き離し、**47年連続で日本一**



圧倒的に日本一の製造業②

▶製造業の産業分類(中分類) **24業種中10業種**で全国シェア **1位** (輸送用機械など)

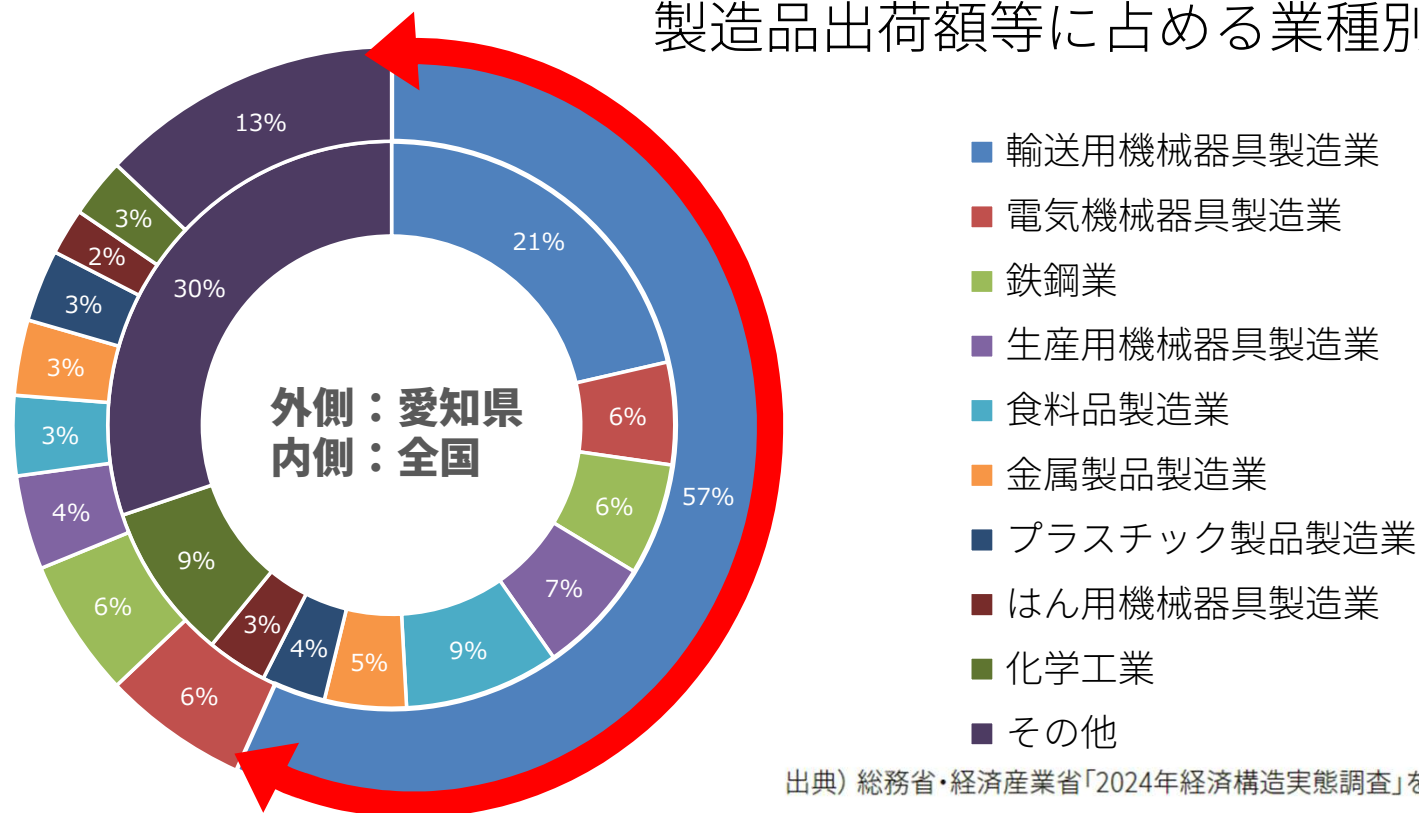


出典) 総務省・経済産業省「2024年経済構造実態調査」を基に愛知県作成

圧倒的に日本一の製造業③

しかし

製造品出荷額等に占める業種別割合



製造品出荷額等の過半数にあたる約57%が輸送用機械器具製造業
愛知県は、輸送用機械器具製造業に大きく依存している

日本最大級の貿易管内「名古屋税関管内」①



	税関名	貿易収支
1	名古屋	11,292,138
2	門司	4,441,464
3	神戸	1,294,443
4	大阪	573,664
5	沖縄地区	▲269,589
6	函館	▲1,606,606
7	長崎	▲1,804,899
8	横浜	▲4,873,164
9	東京	▲11,977,094
	全国合計	▲2,929,644

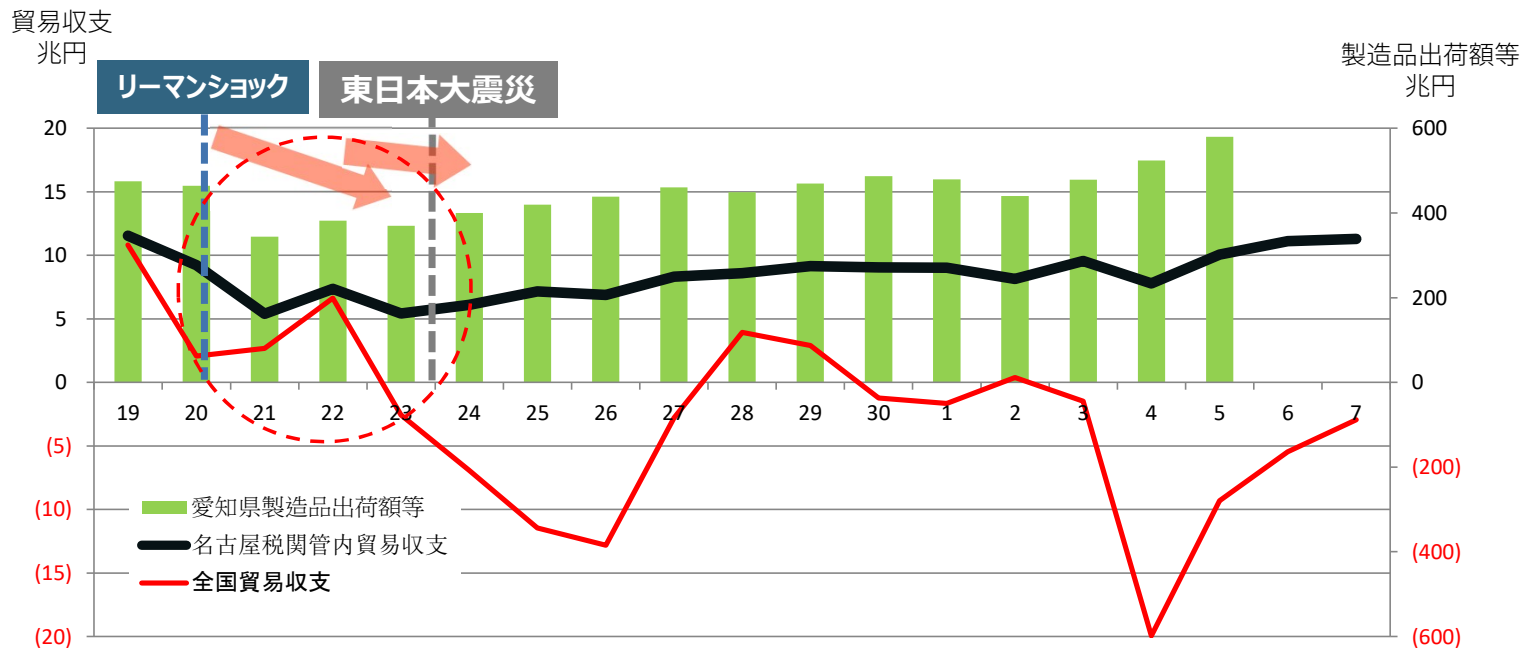
2025年の日本の貿易収支
約**2.9兆円**の貿易赤字

↓
だけど

名古屋税関管内の貿易収支
約**11.3兆円**の貿易黒字

出典)名古屋税関 「令和7年分管内概況」をもとに愛知県作成

日本最大級の貿易管内「名古屋税関管内」②



県内A社の年度 別為替影響額	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	-7,600	-3,200	-2,900	-2,500	1,500	9,000	2,800	1,600	-9,400	2,650	-500	-3,050	-2,550	12,800	6,850	5,350	-1,560

億円

貿易収支は安定しているが、企業収益は為替の影響が大きい！

愛知の産業を支える中小企業①

中小企業・小規模企業者の定義

業種	中小企業者 (下記のいずれかを満たすこと)		小規模企業者
	資本金の額 又は出資の総額	常時使用する 従業員数	常時使用する 従業員数
① 製造業、建設業、運輸業 その他の業種（②～④除く）	3億円以下	300人以下	20人以下
② 卸売業	1億円以下	100人以下	5人以下
③ サービス業	5,000万円以下	100人以下	5人以下
④ 小売業	5,000万円以下	50人以下	5人以下

※上記は、「中小企業基本法」に基づく定義であり、法律や制度によって扱われる範囲が異なる場合がある。

愛知の産業を支える中小企業②



愛知県内企業数・従業者数

	企業数		従業者数	
総数	195,912	100.0%	3,134,893	100.0%
中小企業	195,313	99.7%	2,255,826	72.0%
小規模企業	161,194	82.2%	578,466	18.5%

出典：中小企業庁「都道府県・大都市別企業数、従業者総数」
(民営、非一次産業、2021年)

愛知県内の企業数の**99.7%**、従業者数も**72.0%**は中小・小規模企業。
中小・小規模企業は本県の経済と雇用を支えている。

愛知の産業を支える中小企業③



従業員規模別求人総数及び就職希望者数

従業者規模		2024年 3月卒	2025年 3月卒	2026年 3月卒
300人未満	求人数	427,500	433,100	398,700
	就職希望数	69,100	66,600	44,400
300-999人	求人数	146,800	152,200	152,900
	就職希望数	128,400	95,000	107,000
1,000-4,999人	求人数	148,400	159,500	160,600
	就職希望数	130,200	140,100	152,400
5,000人以上	求人数	50,200	52,400	52,600
	就職希望数	123,300	153,300	157,000

出典：リクルートワークス大卒求人倍率調査
(2025.4.24発表資料)

愛知の産業を支える中小企業④



愛知県内企業の規模別付加価値額（民営、非一次産業）

（単位：億円）

	愛知県		（参考）東京		（参考）全国	
総数	156,721	100.0%	1,025,158	100.0%	2,502,401	100.0%
中小企業	92,896	59.3%	352,615	34.4%	1,401,185	56.0%
小規模企業	22,155	14.1%	67,704	6.6%	363,643	14.5%

2020年数値
出典)中小企業白書2025

付加価値額で見ると、中小企業の割合は**59.3%**。
企業の生産活動からみても、中小企業が本県経済を支えていることがわかる。

Agenda



1 「現在」を知る

~数字でわかる愛知の産業と経済~

2 「過去」を学ぶ

~歴史で知るモノづくり王国・愛知の源流~

3 「未来」を考える

~愛知の目指すべき姿~

あいちのモノづくり源流



水の文化

豊富で良質な水による発酵文化、水運による物流

水運により、醸造品や瓦、石工品が全国に流通



木の文化

河川の水運により良質な木材が豊富に流通

秀吉による木曾材の活用、尾張藩による領有と保護



土の文化

陶磁器や鋳物の製造に適した土・砂が県内で多く産出

千年以上の歴史を有する世界有数の陶磁器産地



糸の文化

三河木綿、知多木綿などの優れた繊維

幕府の綿織物の振興策により、木綿栽培が拡大

良質な水・木や土、繊維、など、モノづくりに必要な材料・技術が集積

古くから交通の要衝であった当地域は、東西の文化が交流し高度なモノづくり文化を芽生えさせた。また、度重なる戦乱や織田信長が全国から集めた技能者に「天下一」を競わせたことも、優れたモノづくり文化がこの地域に根付くきっかけにもなった。

豊富で良質な「水」は水運や食品産業に貢献し、明治以降は電力供給にも活用、良質な「木材」は当初は燃料として、その後、加工産業の基礎に、良質な「土」は窯業・鋳物に、木綿をはじめとした「糸」は織物技術の集積に貢献。

江戸期まで



モノづくりの源流となる素材をそのまま使った産業が栄える

発酵食品

良質な水を活用した発酵食品（味噌・醤油・酢）が発展
焼き物の甕に入れられて、水運を活用し全国に展開

からくり 木造建築

木材を用いたからくりや山車、漆器などの加工が盛んに
木曽材を用いて、名古屋城などの優れた木造建築が建立

陶器 磁器

平安期より良質な土を用いた陶器生産が盛んに
江戸後期には磁器の生産も開始、両方生産する地域は希少

糸・織物 染物

木綿栽培の発達により綿糸の生産が盛んに
織物、染物も発展し、のちの繊維産業の基盤に

明治期～太平洋戦争まで



海外からの繊維機械の輸入、豊田佐吉翁等の発明や改良により機械の高度化・省力化

➤ 近代的な工場設立

繊維産業

基幹産業

産地の確立

尾西地方

→毛織物

半田・西尾・蒲郡→綿スフ織物

岡崎・安城

→綿・羊毛紡績

東三河

→生糸

木工業
の技術



繊維機械
の発展

自動車産業、工作機械産業が発展

軍事需要
の増加

航空機産業、重機械産業が発展

戦後から高度成長期まで

傾斜生産 朝鮮特需

傾斜生産方式による**製鉄、重機械工業分野**の復興
朝鮮特需による幅広い分野の復興

繊維産業

繊維産業は主力産業として1960年代まで成長

自動車 産業

マイカーブームや海外進出で**自動車産業が成長**
並行する形で、工作機械等、**幅広い製造業が発展**

モノづくり産業の変遷と成長

1880年代後半

612万円

織物	30%
製糸工業	38%
陶磁器七宝	21%
有松絞	8%
扇子	3%

1940年

20億円

紡織工業	31%
機械器具	30%
化学	7%
食料品	7%
金属工業	7%

1960年

1兆3,878億円

繊維工業	30%
輸送用機器	15%
食料品	9%
機械	8%
化学	7%

1980年

20兆5,983億円

輸送用機器	31%
鉄鋼	10%
一般機械器具	9%
食料品	7%
電気機械器具	6%

2000年

34兆3,361億円

輸送用機器	45%
一般機械器具	10%
電気機械	9%
鉄鋼	5%
プラスチック	4%

2023年

58兆218億円

輸送用機器	57%
電気機械	6%
鉄鋼	6%
生産用機械	4%
食料品	3%

製造品出荷額等
製造業において1年間に
出荷された製品の総額を示す指標

世界に誇る企業家・発明家



愛知出身者関係者



豊田佐吉
トヨタG創業



豊田喜一郎
トヨタ自動車創業



吉野彰
Li-ion電池発明



西美緒
Li-ion電池実用



奥田正香
日本車輛製造
名古屋瓦斯等創業



橋本増治郎
ダット自動車創業
(現NISSAN)



天野浩
青色LED発明



赤崎勇
青色LED発明



盛田昭夫
SONY創業



井深大
SONY創業



本多光太郎
KS鋼発明



福沢桃助
大同特殊鋼、日清紡、
関電、中電、東邦ガス、名鉄、
東亜合成等創業

女性企業家

村山きぬ・正夫
大須ういろう創業

相川うめ
まるは食堂創業

山崎定吉
Mazak創業

大隈栄一
オークマ創業

安井正義・実一
brother創業

盛田善平
敷島製パン創業

舟橋甚重
フジパン創業

中野又左衛門
mizkan創業

蟹江一太郎
KAGOME創業

中島董一郎
キューピー・アヲハタ創業

森村市左衛門
森村G※創業
※リタケ、TOTO、NGK、日本特殊陶業
など

田中恭一
メニコン創業

あいち創業館 (Aichi Founders Museum)



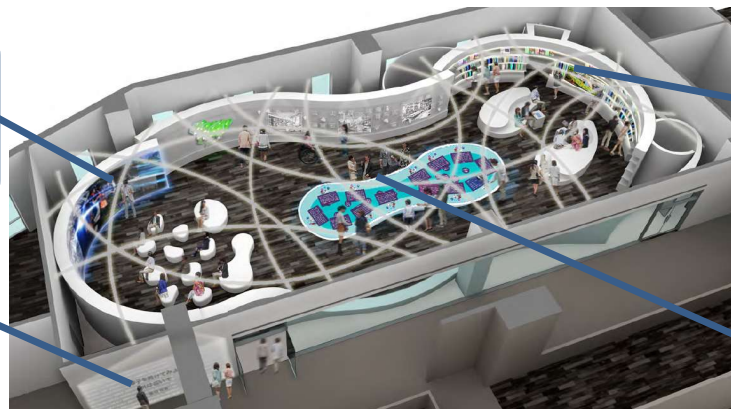
- 愛知県にゆかりのある創業者・経営者の業績等を伝える施設
(スタートアップ支援拠点「STATION Ai」2階)
- STATION Aiに集うスタートアップに勇気や励みを与え、施設の賑わいや彩りを創出するとともに、施設を見学等で訪れる子どもたちに、将来の起業家としての夢を育んでもらうことを目的とする。

②産業のルーツゾーン

■あいちの産業のルーツを紹介する映像や、関連する企業・製品群を紹介

①導入ゾーン

■企業家の名言が刻まれた土壁



④探求・交流ゾーン

■企業家に関する書籍が閲覧できるライブラリーを設置

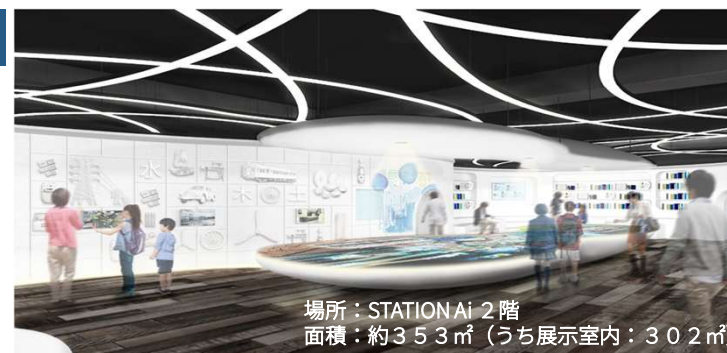
■イベント等を通じた他の来館者との交流を実施

③偉人との出会いゾーン

■デジタル検索ツールを活用して企業家のエピソードや生み出した製品などを紹介

主な展示対象の創業者・経営者<一部>

伊藤 祐民 <J.フロントリテイリング(株)、(株)三菱UFJ銀行>
 奥田 正香 <日本車輛製造(株)、東邦ガス(株)、(株)名古屋証券取引所>
 蟹江 一太郎 <カゴメ(株)>
 神谷 傳兵衛 <オエノンホールディングス(株)>
 豊田 喜一郎 <トヨタ自動車(株)>
 豊田 佐吉 <(株)豊田自動織機>
 福沢 桃介 <中部電力(株)、大同特殊鋼(株)>
 盛田 昭夫 <ソニーグループ(株)>
 六代目 森村市左衛門 <(株)ノリタケカンパニーリミテド>



場所：STATION Ai 2階
面積：約353㎡ (うち展示室内：302㎡)

Agenda



1 「現在」を知る

~数字でわかる愛知の産業と経済~

2 「過去」を学ぶ

~歴史で知るモノづくり王国・愛知の源流~

3 「未来」を考える

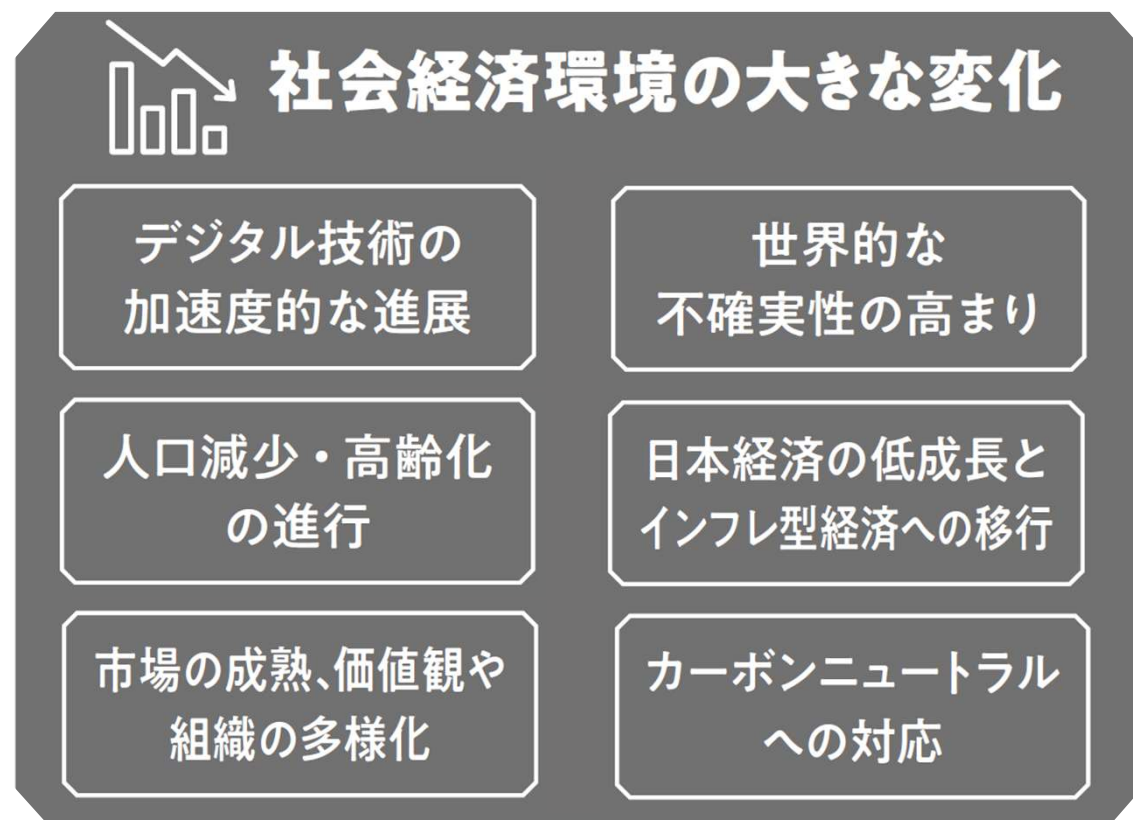
~愛知の目指すべき姿~

「未来」を考える

- 社会経済環境の大きな変化
- あいち経済労働ビジョン2026-2030の目指すべき姿
- あいち経済労働ビジョン2026-2030の基本理念
- 5つの政策と取組の方向性
- 愛知県の大規模事業・プロジェクト

社会経済環境の大きな変化

デジタル技術の加速度的な進展や人口減少・高齢化の進行などの社会経済環境の大きな変化により、本県産業への影響が顕著となっており、特に基幹産業である自動車産業の構造転換を中心に、今後さらに大きな影響が見込まれる。



目指すべき姿①

愛知は、不確実性が増し、社会経済環境が大きく変化する局面においても経済的に「豊かな」地域であり続ける

目指すべき姿

地域経済の好循環と
グローバル経済の中での持続的な成長により
経済的な「豊かさ」を享受し続けられる地域

そのために、「8つの具体的な姿」を明確化し、その実現を目指す

目指すべき姿②

8つの具体的な姿

社会経済に
インパクトを与える
イノベーションが
持続的に創出される
エコシステムを
有する地域

**デジタルとAIを
効果的に活用し**
持続的な成長を
実現する地域

**豊かな
人的リソース**が
産業や経済のエンジン
となっている地域

**ディーセント・
ワークの実現**により
誰もが能力を
最大限発揮し
自分らしく輝ける地域

愛知の魅力を活かして
グローバルに
人や企業を呼び込み
多様で活発な
ビジネスや交流が
生まれる地域

変革する社会に対応し
地域経済をリードする
**力強い産業と
強靱な産業競争力**
がある地域

地域経済を支える
中小・小規模企業が
活力に満ち溢れ
それぞれの目指す姿を
実現している地域

新たなチャレンジ
がしやすく
何度も挑戦できる
地域

基本理念

Accelerating Transformation through Innovation and Diversity

～イノベーションと多様性を通じた変革の加速～

絶え間ないイノベーションの創出と多様な主体・人材の活躍を通じて、
地域に豊かさをもたらす人・企業・産業の変革を加速させる。

イノベーションと多様性を源泉に、「目指すべき姿」を実現し、地域経済の持続的な成長を目指す。

「目指すべき姿の実現に向けた「5つの政策」」

イノベーションを
源泉とした
産業競争力の強化



多様な人材の活躍と
地域の産業を支える
人材の育成



地域経済の活力を
生み出すグローバル
交流の拡大



あいちの未来を
牽引する産業の
進化と成長の加速



中小・小規模企業の
稼ぐ力の向上





イノベーションを源泉とした産業競争力の強化

STATION Aiを中核とした国際的なイノベーション・エコシステムの形成により、将来の愛知、ひいては日本の産業を牽引する新たなビジネスを創出するとともに、研究開発や設備投資を始めとした国内外の投資を促進し、絶え間ないイノベーションを創出。さらに、デジタル技術の加速度的な進展や産業部門への脱炭素化の要請などにも戦略的に対応し、産業競争力を強化。

イノベーションを源泉とした 産業競争力の強化

01 STATION Ai を中核とした イノベーション・エコシステムの形成

1. スタートアップの育成・創出支援/
スタートアップと既存企業とのオープンイノベーション支援
2. グローバル連携支援
3. ソーシャルイノベーション創出支援

STATION Ai

- ▶愛知県はAichi-Startup戦略の下、2024年10月に日本最大の支援拠点STATION Aiを開業
- ▶スタートアップの創出・育成・誘致を強化し、企業連携によるオープンイノベーションを促進



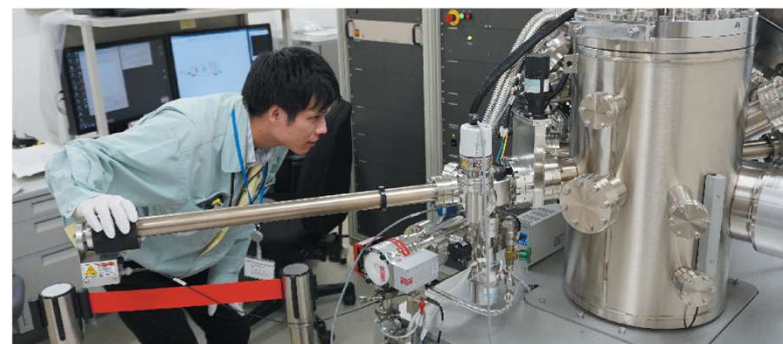
スタートアップ支援拠点「STATION Ai」

02 イノベーションを創出する 研究開発や国内外からの投資の促進

1. 地域の強みを活かした研究開発・実証実験の推進
2. 産業競争力強化に資する企業立地・設備投資の促進
3. 外国企業誘致・進出支援等による海外からの投資促進

「知の拠点あいち」を中核とした研究開発支援

- ▶知の拠点あいちを中核に、県内企業の研究開発等を支援
- ▶産学行政連携プロジェクトや新あいち研究開発補助金等により今後成長が見込まれる分野等の研究開発・実証実験を支援



X線光電子分光（XPS）を用いた高度計測分析

イノベーションを源泉とした 産業競争力の強化

03 デジタル技術の戦略的な活用

1. 県内企業のデジタル技術やロボット技術の導入、DX、AI化の促進
2. AI・ビックデータ等のデジタル技術を活用した新たな価値の創出
3. デジタル人材・ロボット人材の育成・確保への支援

高校生ロボットシステムインテグレーション競技会

- ▶ ロボットSierの人材創出を図るため、2022年度から「高校生ロボットシステムインテグレーション協議会」を実施
- ▶ 産学行政連携による実践的な教育を通じ、次代のモノづくり現場を担うロボットSier人材創出を推進



第3回高校生ロボットシステムインテグレーション協議会

04 カーボンニュートラルに向けた戦略的な取組

1. 水素・アンモニアの社会実装の推進
2. 革新的な脱炭素技術の社会実装に向けた取組
3. 県内企業の脱炭素化支援

水素・アンモニアの社会実装の推進

- ▶ 産業競争力強化に向け、水素・アンモニアの需要と供給を一体的かつ大規模に創出する取組を推進
- ▶ 運輸部門では2030年度までにFC商用車7,000台導入の目標を掲げ、車両導入や水素燃料費への支援などを実施



燃料電池商用車の導入に向けた総決起集会



Photo: courtesy of WorldSkills International

多様な人材の活躍と地域の産業を支える人材の育成

生産年齢人口の減少が進行し、今後その傾向がさらに加速することが見込まれる中で、若者・女性・中高年齢者・障害者・外国人など多様な人材の確保に取り組むとともに、多様で柔軟な働き方や「休み方改革」、ハラスメント対策などに取り組むことで、誰もが安心して働ける職場づくりを推進する。

また、若者を始めとした働き手を愛知に引きつけ、定着する環境づくりを多角的に進めるとともに、地域の産業を支える人材の育成にも取り組んでいく。

II 多様な人材の活躍と地域の産業を支える人材の育成

01 多様な人材の確保・活躍支援

1. 多様な人材（若者・女性・中高年齢者・障害者・外国人等）の確保・活躍支援
2. 不本意非正規労働者等への支援
3. 副業・兼業人材の活用促進
4. デジタル技術やロボット技術を活用した労働生産性の向上への支援

外国人材の確保支援

- ▶ 人手不足による外国人材の雇用ニーズが高まる中で、2025年度に「あいち外国人材受入サポートセンター」を設置
- ▶ 相談対応やセミナーの開催等により中小企業の外国人材確保を支援



「あいち外国人材受入サポートセンター」における相談対応

02 ワーク・ライフ・バランスの充実と安心して働ける職場環境づくり

1. 多様で柔軟な働き方の促進・「休み方改革」によるワーク・ライフ・バランスの充実
2. カスタマーハラスメントを始めとした職場のハラスメント防止対策の促進
3. メンタルヘルス・労働災害防止対策の充実
4. 労働関係法令等の周知と労働相談の充実

愛知県「休み方改革」プロジェクト

- ▶ 「休み方改革」を通じ、国民全体のワーク・ライフ・バランスの充実と生産性向上による日本経済の活性化を目指している
- ▶ 「あいち県民の日」や「県民の日学校ホリデー」などを軸に、家族と子どもと一緒に過ごせる仕組みづくりや「休み方改革マイスター企業認定制度」などにより、中小企業が休暇を取得しやすい環境づくりを進め



II 多様な人材の活躍と地域の産業を支える人材の育成



03 愛知からの人口流出を止め、愛知で働く人を増やす取組

1. 魅力的な働く場を増やす取組
2. 首都圏等からのUIJターンの促進・愛知の魅力発信
3. 外国人材の受入促進

04 地域の産業を支える人材の育成

1. イノベーションを生み出すための人材育成
2. モノづくり人材の育成
3. 技能競技大会の開催等を契機とした更なる技能振興
4. キャリア教育の推進とリスキリング・スキルアップの支援

2028年技能五輪国際大会の開催

- ▶技能五輪国際大会が2028年に日本・愛知で開催され、世界各国から約1,700人の選手が参加する大規模イベントとなる
- ▶組織委員会のもと準備を進め、技能体験や文化交流を通じ、産業人材の確保・育成と将来にわたる経済の持続的発展につなげていく



Photo: courtesy of WorldSkills International

2024年技能五輪国際大会 競技風景

地域経済の活力を生み出すグローバル交流の拡大

人口減少などにより国内需要の縮小が見込まれる中、世界には成長するマーケットや次々とイノベーションを生み出し成長する国や地域、叡智に溢れる大学やスタートアップ支援機関が存在する。愛知の産業集積や観光資源、「STATION Ai」などの強み・魅力を活かし、グローバル市場への更なる展開、インバウンド需要の獲得を強化する。世界とつながり、多様な主体が交流・共創するイノベーション・ハブを形成することで、グローバルなビジネスや投資・人材を惹きつける「世界と大交流する愛知」づくりを進める。

III 地域経済の活力を生み出す グローバル交流の拡大

01 国際的なパートナーシップ構築による イノベーション・ハブの形成

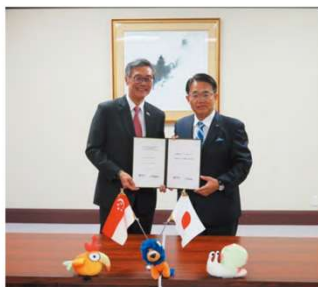
1. 国際的なガバメンタル・パートナーシップ構築による
経済交流・連携関係の拡大・深化
2. 海外大学等とのアカデミック・パートナーシップ構築による
世界的な知との交流・共創

海外の国・地域等とのパートナーシップ構築

- ▶世界の活力ある国・地域等とのパートナーシップ構築を起点として、国際的な経済交流の拡大を促進。
- ▶海外の国、地域や大学、スタートアップ等との連携促進により、産業競争力強化と新たな価値創出を図る。



オクシタニー地域圏 議長 デルガ氏と
(2018年 6月)



シンガポール国立大学 総長 タン氏と
(2023年 9月)



フランス・STATION F ディレクター
ヴァルザ氏と
(2024年 9月)

02 インバウンド需要の獲得・産業交流の 促進

1. 愛知の魅力を活かした観光コンテンツの提供による
海外からの旅行者（ビジネス含む）の呼び込み
2. 国際的なMICEの誘致・開催に向けた取組強化
3. 産業展示会等を通じたビジネス交流の促進

愛知「発酵食文化」振興協議会の設立

- ▶本県は、「味噌」や「しょうゆ」などの多種類の発酵調味料や「日本酒」、「漬物」などの発酵食品の製造の集積地。
- ▶「発酵食文化」の魅力を国内外へ情報発信し、旅の目的地、デスティネーションとしての愛知の認知度向上を図る。



愛知「発酵食文化」振興協議会 Web サイト

III 地域経済の活力を生み出す グローバル交流の拡大

高級ホテルの立地促進

- ▶名古屋市と連携し、MICE誘致や富裕層旅行者等の受入強化に向けた高級ホテル新設への補助制度を2020年度から実施。
- ▶これまでに「TIAD, オートグラフコレクション」、「エスパシオナゴヤキャッスル」が開業し、「コンラッド名古屋」が2026年8月に開業予定。



エスパシオナゴヤキャッスル

03 グローバル市場への展開支援

1. 県内企業の海外販路開拓の支援
2. 県内企業のグローバル展開に向けたサポートとビジネス環境の整備
3. 国際経済秩序の転換や世界的な不確実性の高まりへの対応



あいちの未来を牽引する産業の進化と成長の加速

産業基盤の強みを最大限活かしつつ、社会経済環境の変化と本県の産業構造を踏まえた、戦略的で未来志向の産業振興を行っていく。

また、本県の基幹産業である自動車産業の次世代自動車・モビリティ産業への進化やサプライチェーンを支える中小・中堅自動車サプライヤーの構造転換への対応を後押ししていく。さらに、今後、飛躍的な成長が期待される航空宇宙産業、ロボット産業、観光関連産業、成長著しいデジタル関連産業などの高付加価値な第三次産業等を戦略的に振興していく。

IV あいちの未来を牽引する産業の進化と成長の加速

01

自動車産業の構造転換への対応

1. 次世代自動車・モビリティ産業シフトの推進
2. 中小・中堅自動車サプライヤーの支援
3. ソーシャルイノベーション創出支援

自動運転技術の社会実装に向けた取組

- ▶愛知県では、全国に先駆けて自動運転の実証実験を積み重ね、自動運転技術の向上や社会的受容性の醸成などを推進。
- ▶各社の共通課題となる協調領域において官民連携のもと、解決方法を明らかにすることで、全国に先駆けた事業化を目指す。



名古屋市中心部で走行の自動運転車両

02

航空宇宙産業、ロボット産業の振興

1. 地域が一体となった航空宇宙産業の振興
2. 次世代空モビリティの社会実装に向けた取組
3. ロボットを「作り」「使う」先進地を目指す取組

あいちモビリティイノベーションプロジェクト

- ▶愛知県では、「あいちモビリティイノベーションプロジェクト『空と道がつながる愛知モデル2030』」を推進。
- ▶物流、人流、災害対応の各分野における早期の社会実装や次世代空モビリティのサプライチェーン構築に向けた取組を実施していく。

プロジェクトの目指す姿

柱1 空と道がつながる新しいモビリティ社会の実現
(需要の創出)

革新的ビジネスモデルの国内外への横展開による需要の拡大

好循環の創出

柱2 次世代空モビリティ産業の基幹産業化
(供給力の強化)

国内外の需要を愛知県内に取り込み、産業拠点としての機能を強化

ローンチモデル

物流	河川流域や本州離島間を航路とした高ベイロード物流ドローンによる物流サービス	
人流	限定されたエリアでのeVTOLによる遊覧飛行	
災害対応	災害時：デジタルマップを活用した被災地の情報収集 平時：デジタルマップを活用した各種サービス（インフラ点検等）を実施	

IV あいちの未来を牽引する産業の進化と成長の加速

03

観光関連産業の振興

1. 観光需要の平準化に向けた取組
2. 観光関連産業の生産性向上・高付加価値化の推進
3. デジタルを活用した効果的なマーケティングの推進
4. 広域観光の推進

04

成長著しいデジタル関連産業を始めとする高付加価値な第三次産業等の振興・誘致

1. スタートアップや産学行政連携プロジェクト等による新産業の創出・振興
2. 高付加価値な第三次産業等の戦略的な企業誘致

あいちの歴史観光

- ▶ 2023年の大河ドラマ「どうする家康」の放送にあわせ、49市町始め、市町・観光関連団体など107団体で構成する「愛知県大河ドラマ『どうする家康』観光推進協議会」を設立。
- ▶ 大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送開始に合わせ、県内一体となって本県の重要コンテンツである歴史観光を推進していく。



あいちの歴史観光推進協議会
ロゴマーク及びキャラクター
（「ひでよしくん」と「ひでながくん」）

中小・小規模企業の稼ぐ力の向上

経営環境が目まぐるしく変化する中で、地域経済の重要な担い手である中小企業が持続的な成長と発展をしていくためには、“「稼ぐ力」の向上”、すなわち変化に柔軟に対応しながら競争力・収益力を高めていくことが重要。

地域の支援機関や国を始め中小企業支援に関わる様々なプレーヤーと連携し、地域全体で中小企業の稼ぐ力の向上につながる支援を実施し、地域経済の好循環と持続的な発展を目指す。

V 中小・小規模企業の 稼ぐ力の向上

01 稼ぐ力を支える経営基盤の強化

1. 経営者の意識変革や企業間連携の促進
2. 創業、取引先開拓、経営革新を始めとする総合的な経営支援
3. 人材の確保と定着への支援
4. 人材育成・技能継承への支援
5. 円滑な事業承継・引継ぎの支援
6. レジリエンスの強化
7. 適正な取引・適切な価格転嫁の促進

02 経営環境の変化への対応と既存ビジネスの進化を通じた稼ぐ力の向上

1. デジタル技術・ロボット技術の導入、DX、AI化の支援
2. 成長に向けた有形投資・無形投資の促進
3. 新製品・サービス開発、新規事業展開支援
4. 海外市場の取り込みを含めた新たな販路開拓の支援
5. スタートアップ等との協業によるイノベーションの創出
6. 中小企業の魅力発信によるブランド力向上

適正な取引・価格転嫁を促し地域経済の活性化 に取り組む共同宣言

- ▶愛知県は、適正な取引・価格転嫁の気運醸成に向け、共同宣言を発出し、参画機関と連携して取組を拡充してきた。
- ▶シンポジウム開催を通じ理解促進を進め、今後も関係機関連携により適正取引の実現を加速する。



「適正な取引・価格転嫁を促し地域経済の活性化に取り組む共同宣言」宣言式

V 中小・小規模企業の 稼ぐ力の向上

03 スケールアップを目指す企業への支援

1. 中小・中堅企業のスケールアップ支援

04 地域社会に根差した事業者への支援

1. 地域の商業・サービス業の振興と地域コミュニティの活性化
2. 地場産業や地域資源のブランディングと販路拡大
3. 地域課題解決事業の推進

05 中小企業の自立的成長を支える伴走支援体制の強化

1. 多様な課題解決に資する支援機関の高度化
2. 地域で連携した支援体制の強化

「事業者等による地域貢献活動の推進に関する条例」 (地域貢献活動条例)

- ▶2024年4月に施行した本条例に基づき、大型店や商店街などの事業者等が、地域の多様な主体と連携して行う地域貢献活動を推進。
- ▶事業者等と地域住民が連携・協力して地域貢献活動に取り組むことにより、地域の課題解決や魅力向上を図り、まちを共に作り上げていく地域との共創の実現を目指す。



愛知の大型事業・プロジェクト



2026年度

**第20回アジア競技大会(9/19-10/4)
第5回アジアパラ競技大会(10/18-24)**

2027年度

**第60回アジア開発銀行年次総会 (5/2-5/5)
中部国際空港 (セントレア) の新滑走路が完成予定**

2028年度以降

**2028年技能五輪国際大会
リニア中央新幹線 (東京-名古屋間) 開業**

ご清聴ありがとうございました



あいち経済労働ビジョン2026-2030

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sangyo-seisaku/vision-page2026-2030.html>



愛知県経済産業局の各種メルマガ、SNS等

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sangyo-seisaku/keisan-merumaga.html>

愛知県経済産業局産業政策課
広報・企画調整グループ
TEL 052-954-6330
Mail sangyo-seisaku@pref.aichi.lg.jp

